

The 3rd Speeder CHALLENGE 2020 決勝

1 打差で逃げ切った木下稜介（ハートランド）が67で優勝。

2020年9月より始まった、スピーダーチャレンジ予選会は、全国7会場、約1000名の参加者から予選会を勝ち上がった120名、そして招待・推薦・大会シード選手合わせた合計136名により、2020年12月14日（月）、サマンサタバサ & GMO インターネット ガールズコレクション・レディーストーナメントの会場でもある、イーグルポイントゴルフクラブ（茨城県稲敷郡阿見町）にて決勝大会が開催されました。過去2大会ともに、決勝大会は雨交じりの悪天候でしたが、朝から好天に恵まれ、穏やかな冬ばれの中、全選手が定刻7時24分よりスタートしました。



昨年対比で参加人数が140%アップとなり、また参加者のゴルフレベルも一段と向上。狭き門を通過したトップアマが挑むのは、以下の主催者招待及び推薦選手。

【男子】浅地洋佑（フリー）片山晋呉（イーグルポイントGC）木下稜介（ハートランド）香妻陣一郎（フリー）塩見好輝（国際スポーツ振興協会）野仲茂（横浜CC）竹安俊也（フリー）矢野東（Five elements）吉田隼人（イーグルポイントゴルフクラブ）【女子】林菜乃子（ユピテル）松田鈴英（ニトリ）藤田光里（ゼビオホールディングス）宮田 成華（スリーポンド）脇元華（GMO インターネットグループ）

豪華なトッププロが集結し、1日競技、優勝200万円、賞金総額400万円をかけ、戦いの火蓋が切られました。



最初にダブルス部門は、ハーフ終了時点で-3が3チーム、-2が2チーム、-1が3チームと混戦。優勝は、昨年大会優勝を果たした大会シードの村井忠行/山下ユナチームが33・33・66の6アンダーで1打差を逃げ切り優勝。2位は中部予選会をトップ通過した岡田兼明/荒川怜郁チームが後半を-6でリカバリーし、30・37・67。3位は同スコア-3の69で4チームが並びマッチングスコアカード方式により松本凌/河合慈英チームが抜け出す結果となりました。



そして注目のシングル競技は、ハーフ終了時点で、関東第一予選会をトップで通過したアマチュア ジュニアの清水蔵之介（練馬区立八坂中学校）が-4 で単独首位に。続く-3 で太田祐一（フリー）、松田鈴英（ニトリ）、木下稜介（ハートランド）、-2 で矢野東（Five elements）、アマチュア女子の中谷玲、谷本連（茨木 CC）、塩見好輝（国際スポーツ振興協会）、香妻陣一朗（フリー）、浅地洋佑（フリー）の6名が続き、こちらも混戦模様。後半に入り、最終3組前迄ホールアウトした段階で-4 が5人並ぶ接戦になり、複数名によるプレーオフの可能性がでてくる中、前半を-3 でターンした木下稜介（ハートランド）が、33・34・67の-1 打差で逃げ切り、栄えある第3回大会のチャンピオンに輝きました。



詳しい大会結果はコチラ

シングル選手権 総合成績 http://speederchallenge.jp/wp-content/uploads/2020/12/final_single_total.pdf

ダブルス選手権 総合成績 http://speederchallenge.jp/wp-content/uploads/2020/12/final_doubles.pdf